

令和7年度第2回 福祉用具プランナー認定講習会 in 福岡

- 主 催 ：公益財団法人テクノエイド協会
- 実施機関：公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団
- アンケート回答者数：前期13人（回答率54.2%），後期14人（回答率58.3%）



グループワークで活発に意見交換する受講者の様子



異なる職種の視点が交わり、
新しい発見が生まれる場面

今回の講習では、多職種が一堂に会し、グループワークを通じて互いの視点を共有しました。

「他職種の考え方を理解でき、現場での提案の幅が広がった」

との声が寄せられました。

多職種が互いの視点を共有することは、福祉用具の適正利用に不可欠な「共通認識の形成」に直結しており、本講習の大きな成果といえます。

開催概要

福祉用具プランナ認定講習の目的

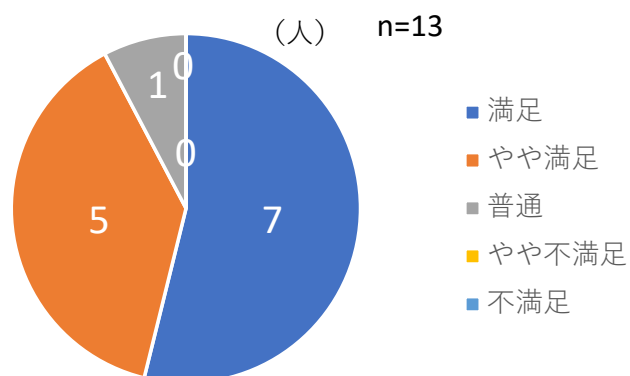
- 介護の現場において適正な福祉用具の利用が促進されるよう、福祉用具に関する知識や個々の福祉用具の利用方法などの専門知識を有する人材の育成を図る。
 - 福祉用具に携わる様々な職種の対象者に、福祉用具の取り扱いについての共通認識を育て、それを基盤として福祉用具の適切な利用と供給の実現に資すること。
- 開催日：e-ラーニング期間 令和7年 9月8日～11月7日
集合研修 【前期】 令和7年11月12日～15日
【後期】 令和7年11月27日～29日
 - 開催場所：久留米ビジネスプラザ
 - 受講者数：24人（+補講1人）



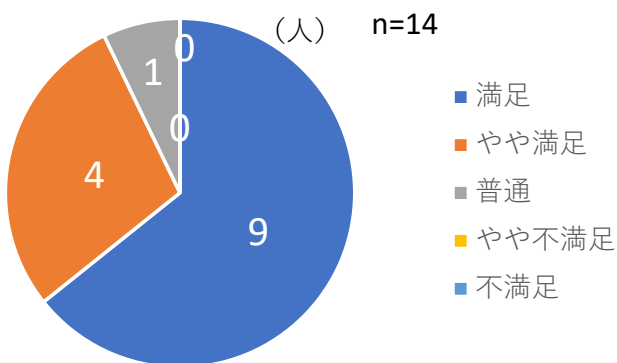
成果の整理

実技・交流・業務への活用に関する主なコメント

満足度（前期講習）



満足度（後期講習）



受講生の主な声

- 今後の実務を行う上で必要とされる知識や技術を学ぶことができた。福祉用具プランナーを取得し、自分だけでなく、会社全体に落とし込んでより良い提案やヒアリングをしていきたいと感じた。
- 体の動き、用具の使い方等、日常業務では学べない深い部分について把握が出来た。
- 演習などを通して、知識だけでなく体を使って学ぶことができ、今回の講習内容を現場でもすぐに実践したい。
- 実技を通して身体特性などを再学習することができ大変貴重だった。また、利用者様と関わる中で困っていたこと(シーティングなど)について理解することができ、とても満足のいく講習だった。
- 講義内容が日頃の業務に直接的に関わってくることが多く、学ぶことが多かった。
- 日頃の業務に生かせるようなスキルアップとなった。演習や実技メインで身についた。
- 事例によるグループワークは多職種との様々な意見交換ができて非常に勉強になった。
- 参加者と交流することもでき有意義な時間を過ごすことができた。



成果の整理

1. 実技を通じた理解の深化

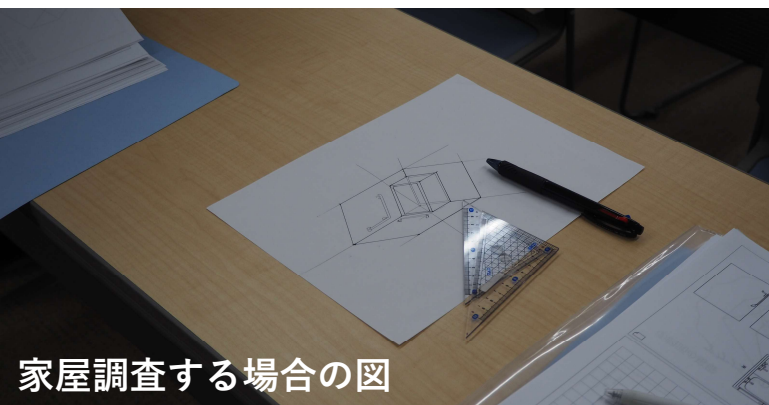
今回の講習で特に評価が高かったのは、実技を通じた理解の深化である。

- 講習では、実技を中心としたプログラムが高く評価され、「日常業務では学べない深い部分を把握できた」「体の動きや用具の使い方を実際に体験することで理解が進んだ」といった声が多く寄せられた。
- 特にシーティング、移乗、入浴関連用具など、現場で課題となりやすい領域について、専門講師による実演と体験を通じて学べた点は、受講者の専門性向上に大きく寄与した。
- 実技を通じた学びは、福祉用具プランナー認定講習の目的である「適正な福祉用具の利用方法の理解」に直結する成果である。

成果の整理

2. 業務への即効性とスキルアップ

- 講義・演習ともに現場との関連性が高く、「今後の業務に活かせる内容だった」「会社全体に共有したい」「早速活用できそう」といった声が多く見られた。
- 車いすの付属品選定、住宅改修の視点、排泄・入浴関連用具の適用など、受講者が日常的に直面する課題に直結する内容が多く、受講後すぐに実務へ反映できる学びが得られたことがうかがえる。
- また、受講者の中には「提案の幅が広がった」「知識の引き出しが増えた」といった声もあり、講習がスキルアップの機会として機能していることが確認できた。





グループワーク



グループワーク



課題解決に関する発表

成果の整理

3. 多職種交流による新しい視点の獲得

- 本講習の大きな特徴である多職種交流については、前期・後期を通じて多くの受講者が高く評価した。
- 理学療法士、作業療法士、福祉用具専門相談員など、異なる立場の受講者がグループワークで意見を交わすことで、「自分にはなかった視点を得られた」「他職種の考え方が理解できた」「多様な意見交換が刺激になった」といった声が寄せられた。
- こうした交流は、福祉用具の適切な利用と供給に必要な「共通認識の形成」に大きく貢献しており、講習の象徴的な成果といえる。

改善点 1

1. 時間配分・スケジュールに関するご意見

- 講習時間が長く、集中力の維持が難しいとの声が寄せられました。また、前期・後期ともに土曜日が含まれる日程について、働き方改革の観点から業務調整が難しいという意見もありました。
- 今後は、受講者の負担を軽減できるよう、講習時間の見直しや日程設定の工夫を検討します。

2. 休憩時間・タイミングの調整

- 休憩時間が短く、業務連絡や昼食準備が十分に行えないという声が複数ありました。特に後期では「昼休憩を12時半～13時半にしてほしい」といった具体的な要望も挙がりました。
- 今後は、休憩時間の長さや開始時刻を明確化し、受講者が余裕を持って参加できる運営を目指します。

3. 講義内容の標準化・試験範囲との整合性

- 講師によって説明内容や重点が異なる点について、「標準化が必要」との意見がありました。また、試験内容とのリンクが弱いと感じた受講者もあり、学習内容と評価の一貫性が課題として挙げられました。
- 今後は、講師間での情報共有を強化し、講義内容と試験範囲の整合性を高める取り組みを進めてまいります。

改善点 2

4. グループワークの進行と参加の公平性

- グループワークにおいて、発表者が固定化される傾向があり、「負担が偏る」「参加の仕方に差がある」といった声が寄せられました。
- 今後は、役割分担の工夫や進行方法の改善により、より多くの受講者が主体的に参加できる環境づくりを検討します。

5. 会場アクセス・環境に関するご意見

- 会場までのアクセスに関しては、「渋滞が気になる」「博多開催が望ましい」といった意見が挙がりました。また、会場の設備については概ね好評であったものの、昼食の準備がしやすい環境を求める声もありました。
- 今後は、アクセス性や周辺環境も含めた会場選定の検討を進めてまいります。

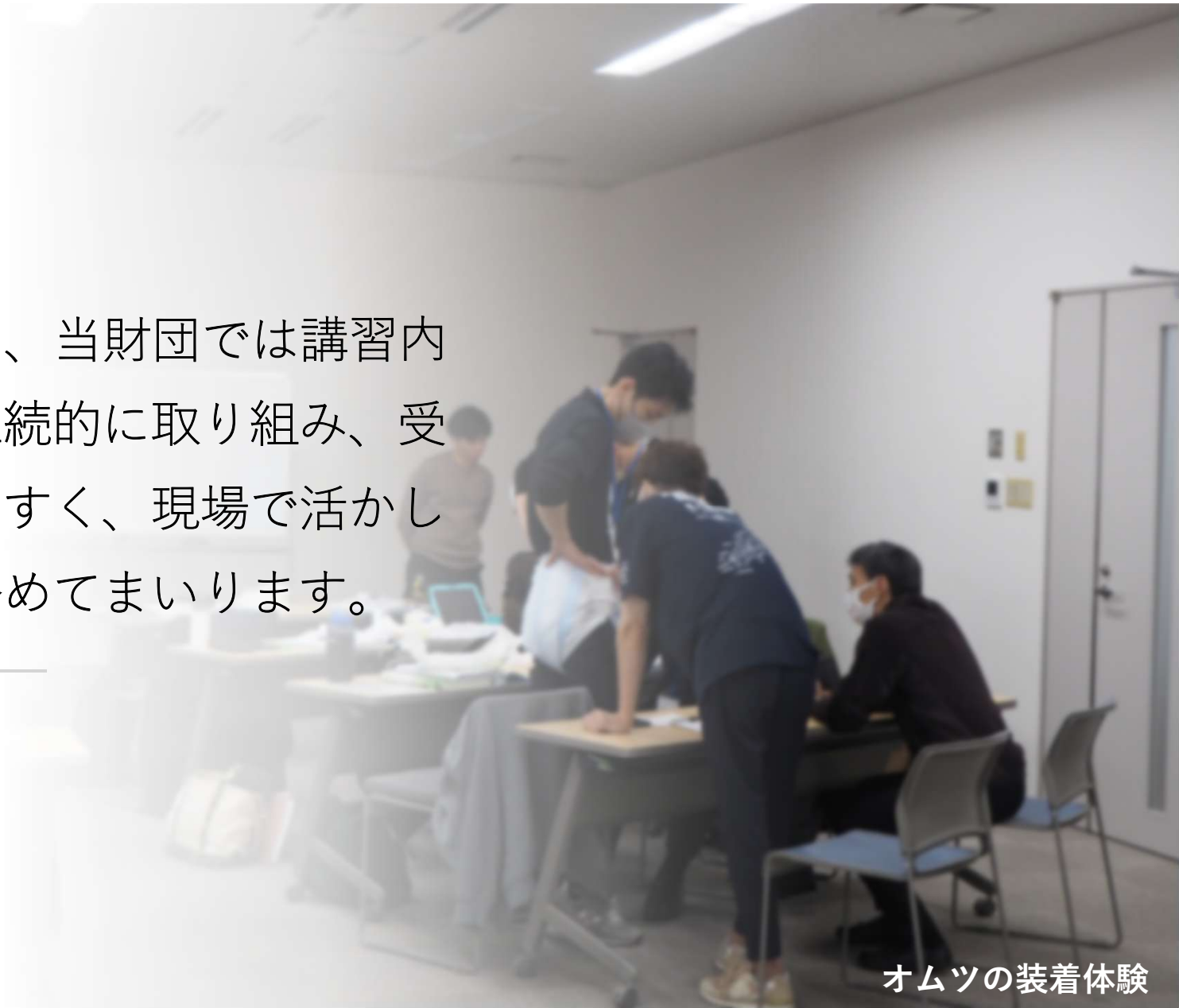
6. eラーニングの改善

- 「機械音声聞き取りづらい」「内容が膨大で時間確保が難しい」といった声が寄せられました。
- 今後は、音声品質の改善や学習負担の適正化について、テクノエイド協会に受講生の要望を伝え、改善依頼をしてまいります。



改善のまとめ

以上のご意見を踏まえ、当財団では講習内容・運営体制の改善に継続的に取り組み、受講者の皆様がより学びやすく、現場で活かしやすい講習となるよう努めてまいります。



オムツの装着体験

本講習の社会的意義

1. 多職種連携による地域介護の質向上

- 本講習には、理学療法士・作業療法士・看護師・福祉用具専門相談員など、多様な職種の受講者が参加しています。
- グループワークや実技演習を通じて、異なる専門性が交わり、利用者の生活を多角的に捉える視点が育まれました。
- こうした多職種連携は、地域における介護サービスの質向上に直結し、利用者一人ひとりに適した支援の実現に寄与するものと考えます。

2. 福祉用具の適正利用促進と安全な生活支援

- 講習では、福祉用具の選定・調整・使用方法に関する専門的な知識と技術を体系的に学ぶことができました。受講者からは「現場で困っていた部分が理解できた」「利用者の身体特性に合わせた提案ができるようになった」といった声が寄せられており、適正な福祉用具利用を支える実践力が確実に高まっています。
- これにより、利用者の自立支援や安全確保が促進され、地域全体の介護力向上につながります。また福祉用具の利用が広がり、地域全体の介護の質が底上げされることも期待されます。

本講習の社会的意義

3. 専門性の向上による持続可能な介護体制の構築

- 福祉用具の適切な活用は、介護者の負担軽減にも大きく寄与します。
- 本講習を通じて受講者が得た知識や技術は、現場の効率化や事故防止に直結し、持続可能な介護体制の構築に貢献するものと考えます。
- また、受講者が所属する事業所や地域に知識を還元することで、福祉用具の適正利用が広がり、地域全体の介護の質が底上げされることが期待されます。

〈まとめ〉

本講習で育まれた専門性と多職種連携の視点は、地域における介護の質向上と、福祉用具の適正利用を推進する重要な基盤となるものです。

今後も当財団は、地域の介護を支える人材育成に継続して取り組んでまいります。

受講生の皆様へ

- このたびは、当財団主催の「福祉用具プランナー認定講習」をご受講いただき、誠にありがとうございました。
- アンケートの集計結果は、次頁から掲載しております。ぜひご覧ください。
- 皆様からいただいたご意見・ご要望を参考に、今後もより良い講習会の企画・運営に努めてまいります。ご質問やご提案がございましたら、どうぞお気軽に当財団までお問い合わせください。
- また、当財団では本講習以外にも、さまざまな研修や活動を実施しております。詳細は当財団ホームページにてご案内しておりますので、ぜひご覧ください。

 **公益財団法人フランスベッド・ホームケア財団**

e-mailアドレス info@fbm-zaidan.or.jp

〒187-0004

東京都小平市天神町4丁目1番1号 フランスベッド(株)メディカレント東京3階

TEL (042) 349-5435 FAX (042) 349-5419



【付録】 アンケート 集計結果（全項目）

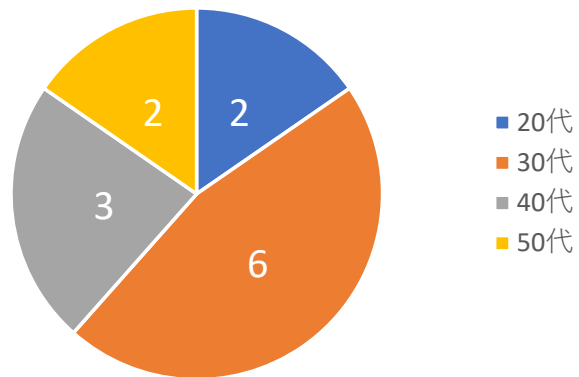
本付録では、前期・後期アンケートの全項目について、原文のまま掲載しています。

受講者数：24人

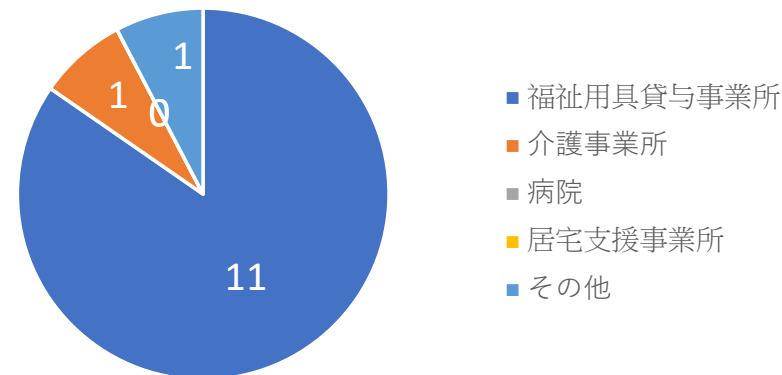
アンケート回答者数：前期13人（回答率54.2%），後期14人（回答率58.3%） p

前期アンケート結果

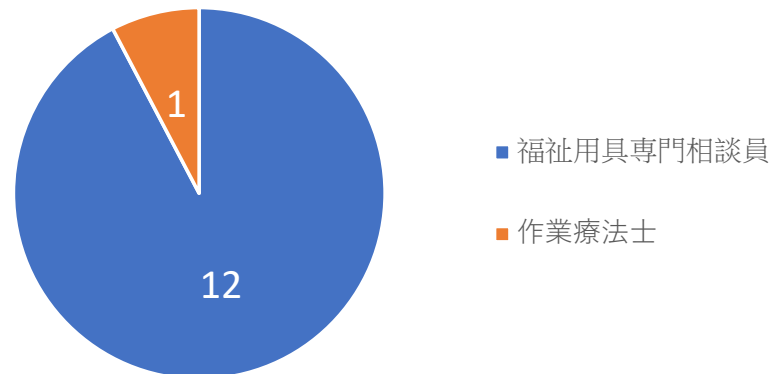
年代



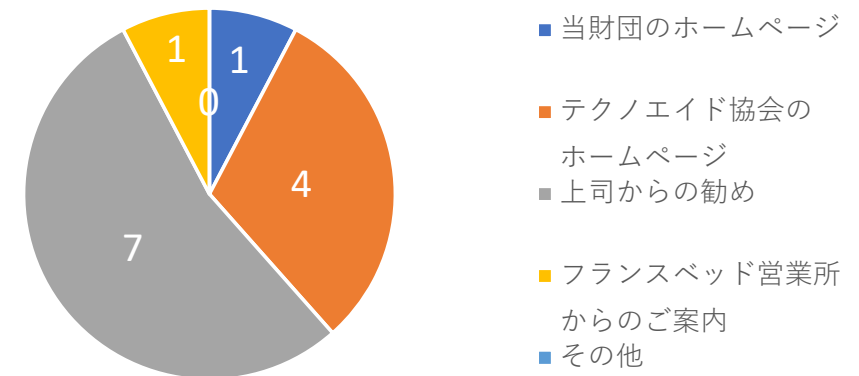
所属機関



職種

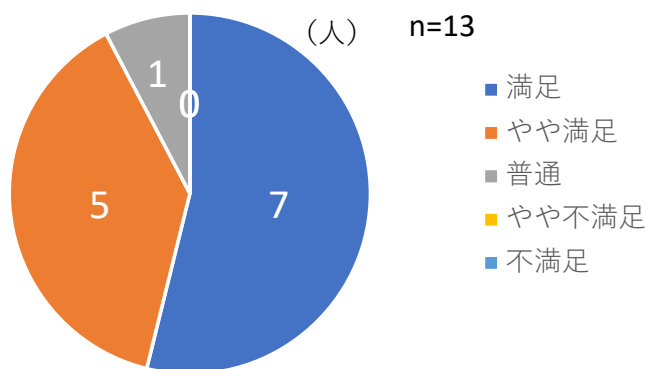


講習会を知った手段



前期アンケート結果

満足度（前期講習）



やや満足を選択した理由

- 体験式の研修が多く、実例を踏まえた学びがわかりやすかった。講師の先生方の話もわかりやすかった。
- 所要日数が短いことは満足している、前期後期共に土曜日が入ってしまうと、働き方改革の影響で本来の業務に支障が出てしまう為、やや満足とした。
- 講義の内容はためになったが、一部グループワーク内での参加の仕方がおかしい方も見受けられた。
- 知識を理屈に基づいて落とし込むことができた。
- 受講側を飽きさせないよう、実技を織り交ぜながら、講師の方々が講義して下さり、とても理解を深める事ができた為。

満足を選択した理由

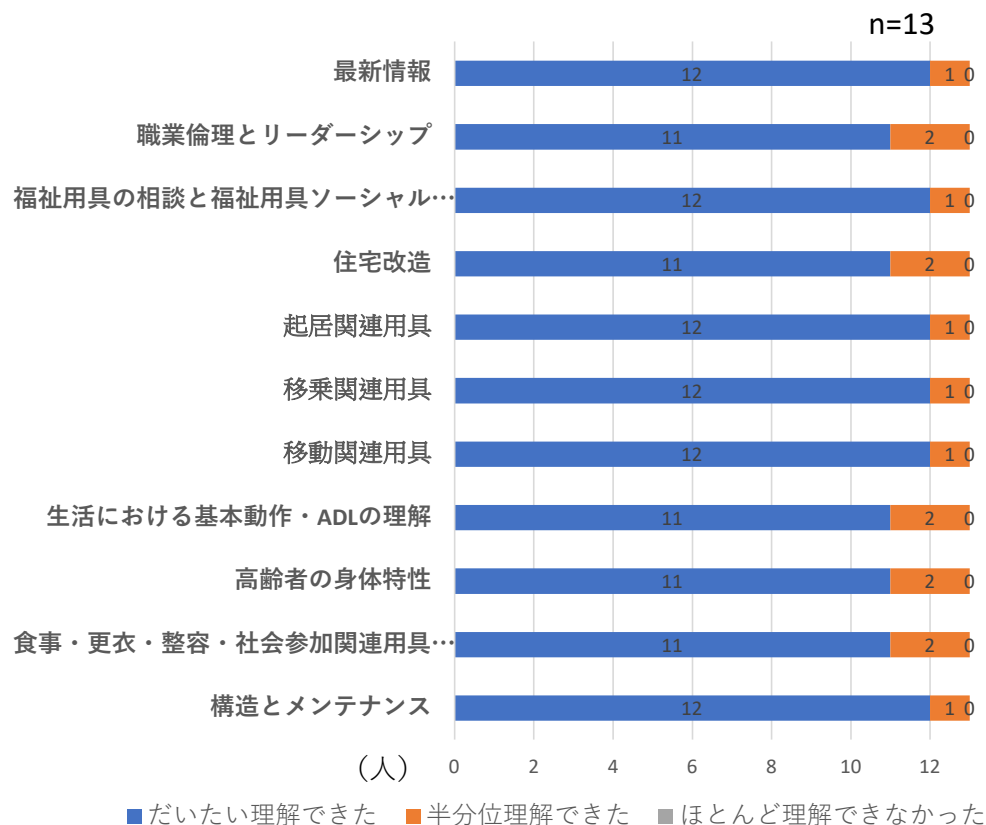
- 実技を体感できたのがとても良かったです
- 非常に専門的で今後の業務に活かせる研修内容だったため。
- 今後の実務を行う上で必要とされる知識や技術を学ぶことができた。福祉用具プランナーを取得し、自分だけでなく、会社全体に落とし込んでより良い提案やヒアリングをしていきたいと感じた。
- 体の動き、用具の使い方等、日常業務では学べない深い部分について把握が出来た。
- 作業療法士として参加したが、グループワークで他職種の意見を聞いたり、実技を通して身体特性などを再学習することができ大変貴重だった。また、利用者様と関わる中で困っていたこと（シーティングなど）について理解することができ、とても満足のいく講習だった。
- 実技が非常にためになった。
- 専門講師の方々の説明がわかりやすく、勉強になることしかなかった。

普通を選択した理由

- 講習時間が長く集中力が厳しいです。

前期アンケート結果

科目別理解度（前期）

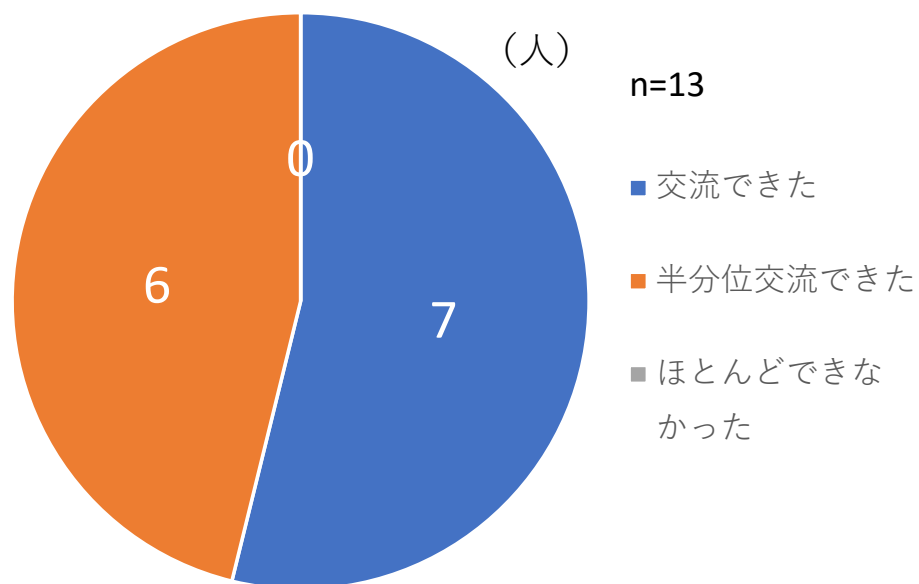


研修の改善点

- 車椅子の研修では、モジュール式の車椅子など、実機のバリエーションがもう少し豊富ですと、ありがたかったかなと思う。
- 土曜の講習は前期後期どちらかにして欲しい。
- 講義の内容はためになりました。
しかし、グループワーク内での発表が、発表者がグループ内で固定化されがちで負担が偏り、不公平です。発表したくない方が別の方に圧をかけて一回も自身は発表しない。
発表したくない方はモチベーションが低すぎて、結果として良いグループワークとは言えないのではないかと感じてしまった。
グループ内でも発表の順番を決めるなどの工夫が必要と感じる。
お互い会って間もないので各々の自主性でできる限界がある。
- 朝9時研修開始で19時終了の日が二日間あったが少し長く感じた。
- 研修時間が長すぎる。
- 特にないが、1日の研修時間が19時までの日は終盤集中力が切れてしまった。
- 2日目、3日目の研修が7時までであったため、長いと感じた。
- 終了時間が19時より早ければありがたい。
- 少し研修時間が短くなるとありがたいです。
- 一講義ずつ受講後に受講証明サインを書く作業が、他にもっと良い方法があれば良いなと思った。アナログ的で、書く列が並ぶと休み時間が殆ど無くなり、混み合う為。

前期アンケート結果

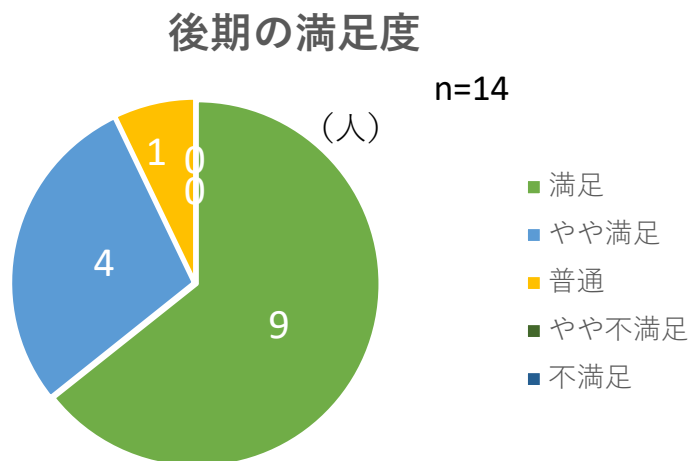
他の受講生と交流できたか



ご意見

- 駐車場が広く、無料であり会場も遅くまで利用可能な今回の場所は非常に素晴らしい会場かと思う。北九州、熊本からも程よく近いのがより良いかと感じた。
- 大変勉強になりました。ありがとうございました。(2名)
- 座学と実技が上手く組み合わせになっていることはもちろん、グループワークも多く同業他社も含め多職種の方々とコミュニケーションがとれたことが非常に良かった。
- 昼休みは1時間あるとバタバタせずにすみますので助かる。

後期アンケート結果



やや満足を選択した理由

- 車椅子シーティングについての学びがもう少しあればありがたかった。
- 講義の内容が仕事に活かせるような為。
- 熱意ある先生と向上心ある受講生の方々に囲まれて刺激を頂いた。
- 先生方の体験談やその時の対応策等お聞きでき、知識の幅を広げることができた。頭で考えながら理解に落とし込む事が多かったので、実技でもう少し内容を落とし込めたら良かったなと思った。

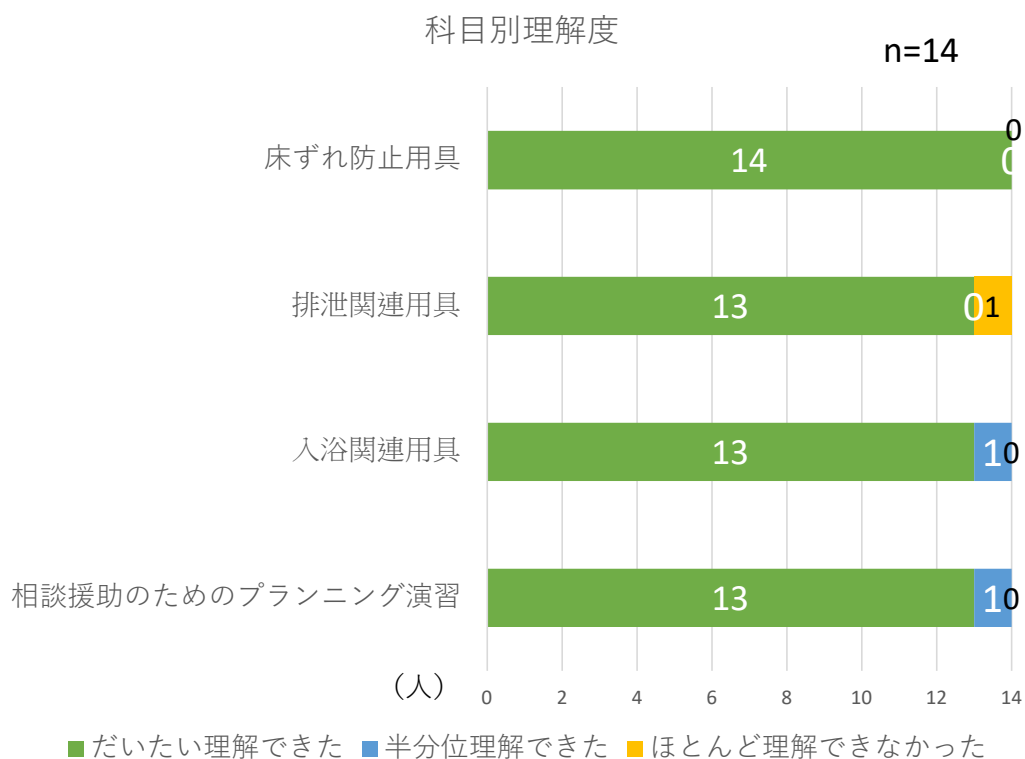
満足を選択した理由

- 講師の先生方が実際の状況について説明して下さい、とても勉強になった。
- 住宅改修、相談支援のためのプランニングは2回目の受講でしたが新たな学びの機会となった。
- 事例によるグループワークは多職種との様々な意見交換ができて非常に勉強になった。
- 演習が多く実践形式で学ぶことができた。参加者と交流することもでき有意義な時間を過ごすことができた。
- 福祉全体に関しての知見が広がった。
- 自身の知らない事が多くあり早速活用できそうです。
- 演習などを通して、知識だけでなく体を使って学ぶことができ、今回の講習内容を現場でもすぐに実践したいと思った。
- 講義内容が日頃の業務に直接的に関わってくることが多く、学ぶことが多かったため。
- 日頃の業務に生かせるようなスキルアップとなった。演習や実技メインで身についた。

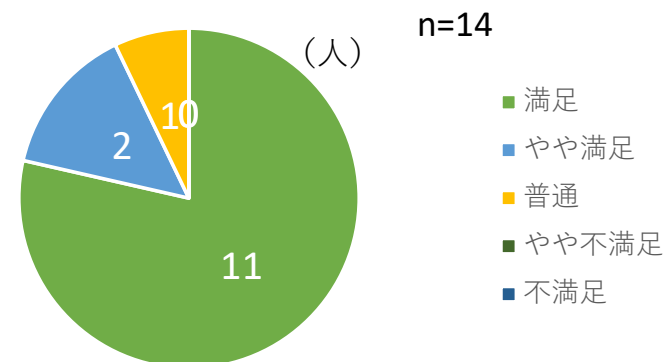
普通を選択した理由

- 実技は非常に為になったし、演習も実入りあるものだったが、試験内容とのリンクが弱かったように感じられた。

後期アンケート結果



運営スタッフの対応やサポート



満足を選択した理由

- そつがない運営と感じた。
- すべての対応に満足している。
- 時間割や研修の進め方など、大変なことが多かったかと思うが、円滑に進めていただけて助かった。

やや満足を選択した理由

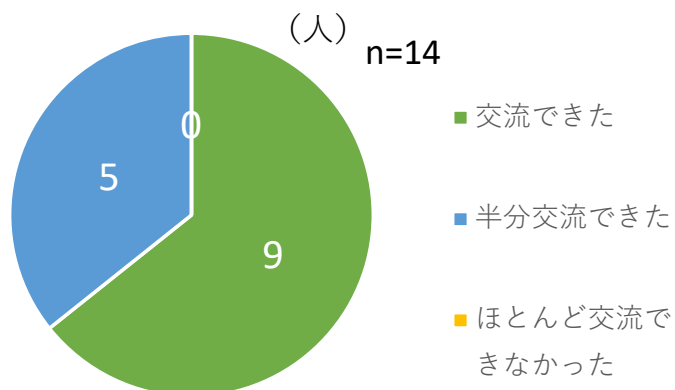
- パソコンの音が気になった。

普通を選択した理由

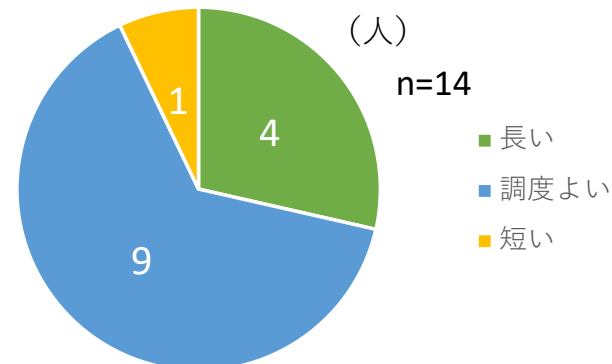
- 受講中に後ろの方が騒がしい時があり集中しにくかったのが残念だった。

後期アンケート結果

他受講生との交流



講習期間について



後期講習会のご意見

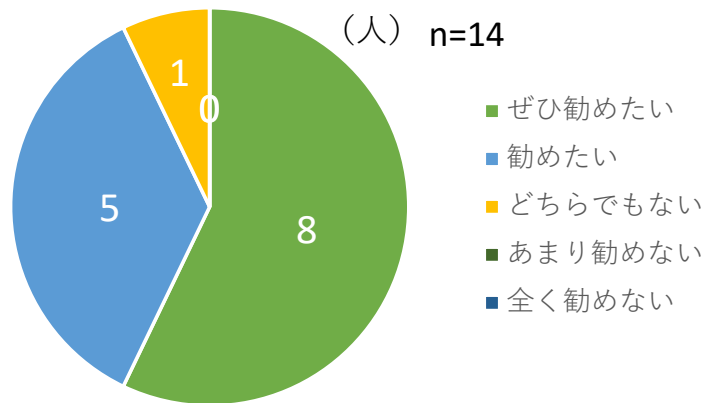
- 会場に向かうまで交通渋滞が少し気になった。
- 前期もでしたが様々な職種の方や同業他社と交流ができて非常に良い刺激になった。
- 可能なら久留米ではなく、博多開催がありがたい。
- PT等の他職種の方たちの考え方が少し理解できた。
- 会場、施設について不満はありません。しいて言えば、遠方から来ている方が多いので昼食を準備しやすい施設だと助かる。
- 北九州からの参加だったので、今回の集合講習の施設へのアクセスがちょうどよかった。

e-ラーニング受講で困ったこと

- 特になし。（6名）
- 機械的な音声で受講内容が進むため、集中が削がれる場面がある。
- 内容が膨大であり、時間がかかる。しょうがないことと思う。
- e-ラーニングの時間を取るのは大変だった。
- 機械音で聞き取りづらかった。

後期アンケート結果

講習会の推奨度



推奨する理由

- 知識や技術向上のためには受けるべき講義と思います。
- 自身のスキルアップはもちろん、グループワークも多く非常に勉強になるから。
- とても考える内容が多かったが、多職種での意見交換がとても楽しく、色々な考え方があることを知りました。
- 実務に役に立つので。
- 特に貸与事業所の方々は、今までよりも知識の引き出しが数段アップできる為、とても薦めたい。

前後期を含めたご意見

- とても良い学びの場となりました。スタッフ及び講師の皆様には感謝します。
- 今回は補講で参加しましたが、運営の皆様も丁寧に対応していただいた。是非、同僚や後輩に受講することを勧める。
- 福祉用具専門相談員としてより専門的な内容でしたので今回の研修で学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思う。
- 全体的に新しいことや既存の知識をアップデートできる良い機会となり大変勉強になった。別の機会でもまた受講できる講習があればぜひ受講したいと感じた。
- 福祉用具以外の専門職の方とも交流できる良い機会となった。
- 座学もですが実技が特に勉強になった。特に小林先生の実技が感銘を受けた。
- 演習が多すぎて、疲弊してしまうかなと思う。
- 前・中・後と3工程で月末を避けて頂けるとありがたい。ですが、熱意ある先生方の講義を受けさせていただき、ありがたい。
- 前期後期ともに、講義や演習を通して苦手としていたところや、現場で困っていたこと、そして新しい知識を学ぶことができてとても貴重な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。
- 会社内でも内容の共有を行い、また新しい参加者を募っていきたいと思う。
- 講習自体、長さも丁度良く、沢山の講師の方々から講義を受けることができ、実技で内容を理解したりと、とても自分の力になったと思う。